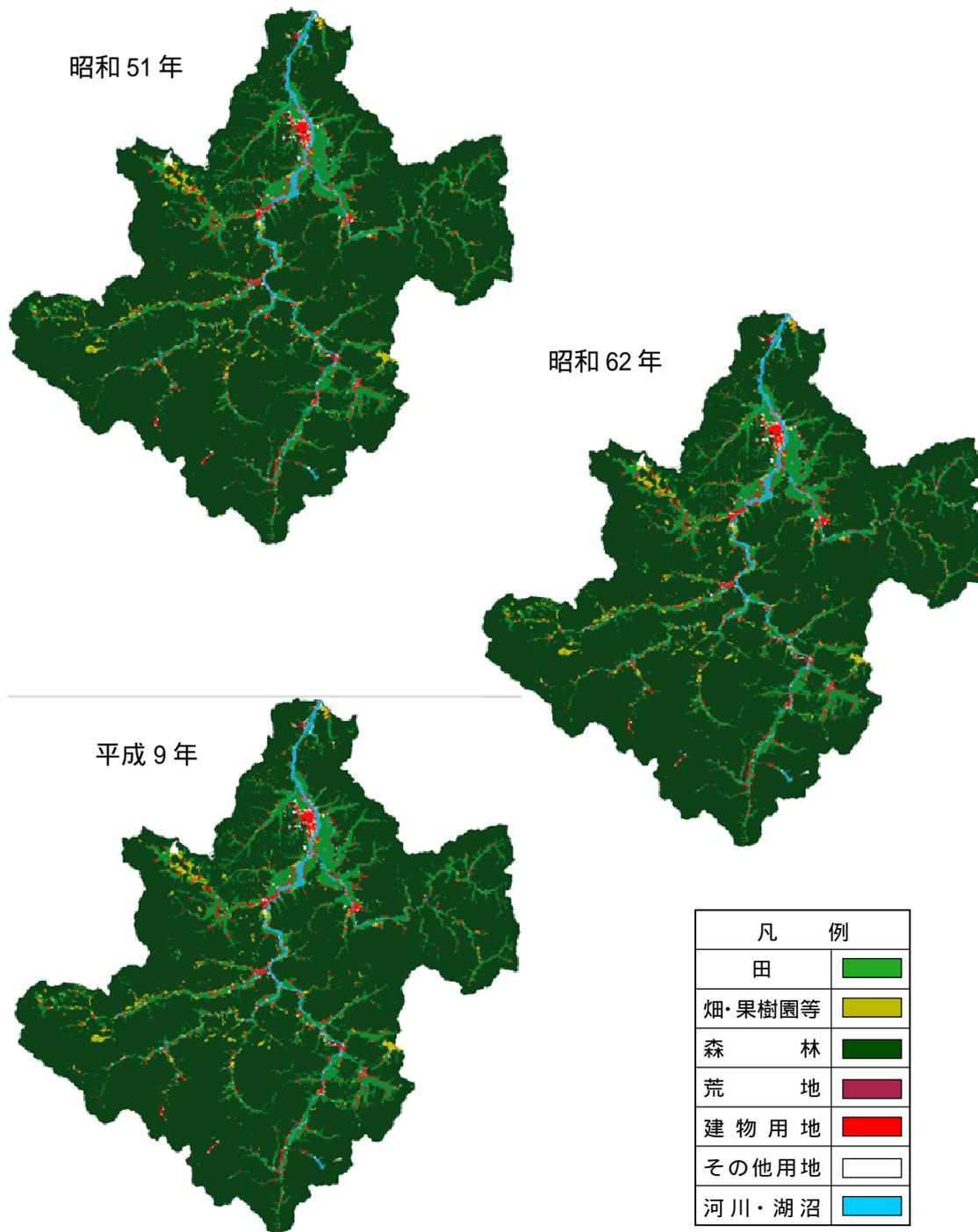


3 流域の社会状況

3-1 土地利用

円山川流域では、山地部(森林)が約83%を占め、平地部のうち水田や畑地等の農地が約11%、宅地等その他が約6%となっている。土地利用の割合は、過去からあまり変化がなく、流域内の開発はそれほど行われていない。



	昭和51年	昭和62年	平成9年
農地(田・畑)	12.0%	11.1%	11.3%
森林・荒地	83.6%	84.1%	82.9%
宅地	2.2%	2.5%	2.7%
その他	2.2%	2.3%	3.1%

出典：国土数値情報（土地利用メッシュ）

図 3-1 円山川流域土地利用図

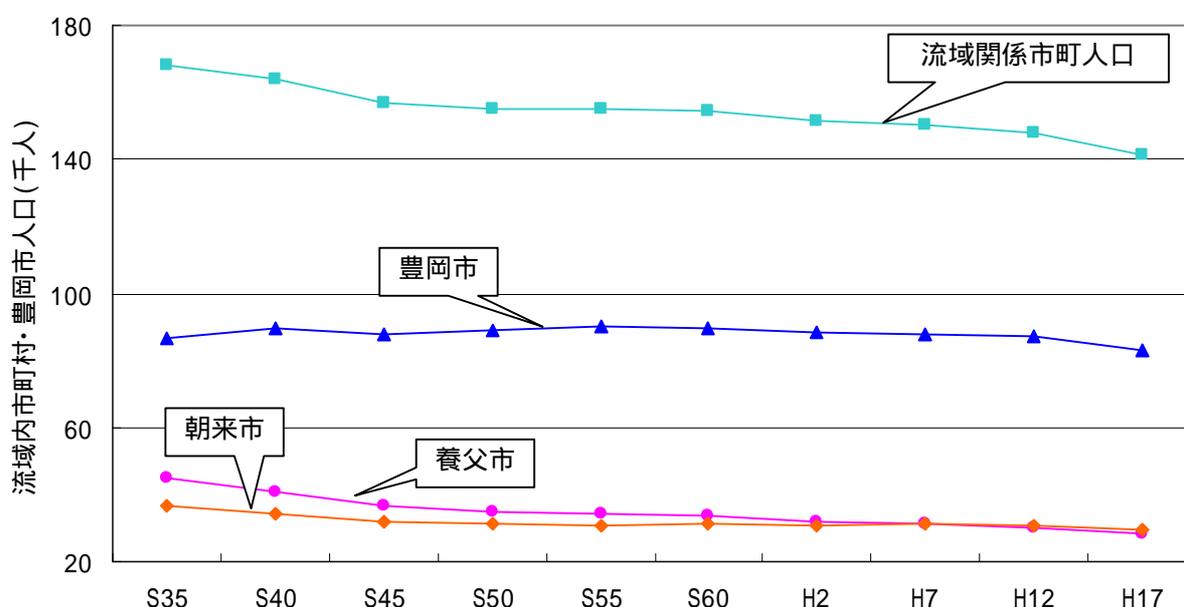
3-2 人口

円山川流域の関係自治体は、市町村合併により現在3市から成り、3市の人口は約14万人となっている。流域関係市町の人口は、昭和35年以降減少傾向にあり、豊岡市では、昭和60年より減少傾向が見られる。

表 3-1 流域関係市町の人口の推移 (単位：人)

県名	合併後	合併前	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
兵庫県	豊岡市	豊岡市	42,569	43,259	44,094	46,210	47,458	47,712	47,244	47,742	47,308	45,756
		城崎町	6,042	6,262	5,904	5,669	5,303	4,958	4,748	4,592	4,345	3,957
		日高町	21,685	20,338	19,592	19,394	19,415	19,325	18,822	18,666	18,410	17,591
		出石町	12,557	11,646	11,235	10,926	11,129	11,204	11,001	10,907	11,207	10,782
		但東町	3,804	7,816	7,181	7,022	6,734	6,581	6,330	6,062	5,731	5,235
	計	86,657	89,321	88,006	89,221	90,039	89,780	88,145	87,969	87,001	83,321	
	養父市	八鹿町	14,551	13,801	13,155	13,029	13,056	12,969	12,779	12,562	12,011	11,409
		養父町	11,954	10,987	10,289	9,968	9,611	9,431	9,140	8,913	8,728	8,166
		大屋町	10,978	9,313	7,527	6,572	6,142	6,004	5,173	4,962	4,785	4,378
		関宮町	7,401	6,639	5,745	5,350	5,170	5,191	5,000	4,853	4,586	4,271
		計	44,884	40,740	36,716	34,919	33,979	33,595	32,092	31,290	30,110	28,224
	朝来市	和田山町	17,592	16,281	15,514	15,697	16,046	16,782	16,848	16,764	17,051	16,647
		山東町	8,734	8,317	7,787	7,364	7,029	6,737	6,466	6,551	6,392	6,176
		朝来町	10,228	9,573	8,553	8,044	7,787	7,764	7,612	7,869	7,549	6,988
		計	36,554	34,171	31,854	31,105	30,862	31,283	30,926	31,184	30,992	29,811
	流域合計			168,095	164,232	156,576	155,245	154,880	154,658	151,163	150,443	148,103

出典：国勢調査，兵庫県の人口



出典：国勢調査，兵庫県の人口

図 3-2 流域関係市町の人口の推移

3-3 産業・経済

流域内の関係3市の産業特性を産業別就労人口からみると、昭和35年以降、第1次産業が大きく減少しており、第3次産業への就労者数が大きく増加している。なお、第2次産業の就労者数は昭和50年以降、ほとんど変化していない。

地場産業として、豊岡市のかばんは出荷額が200億円を超え、全国シェアの約2割を占めている。また、城崎温泉等の観光産業も盛んである。

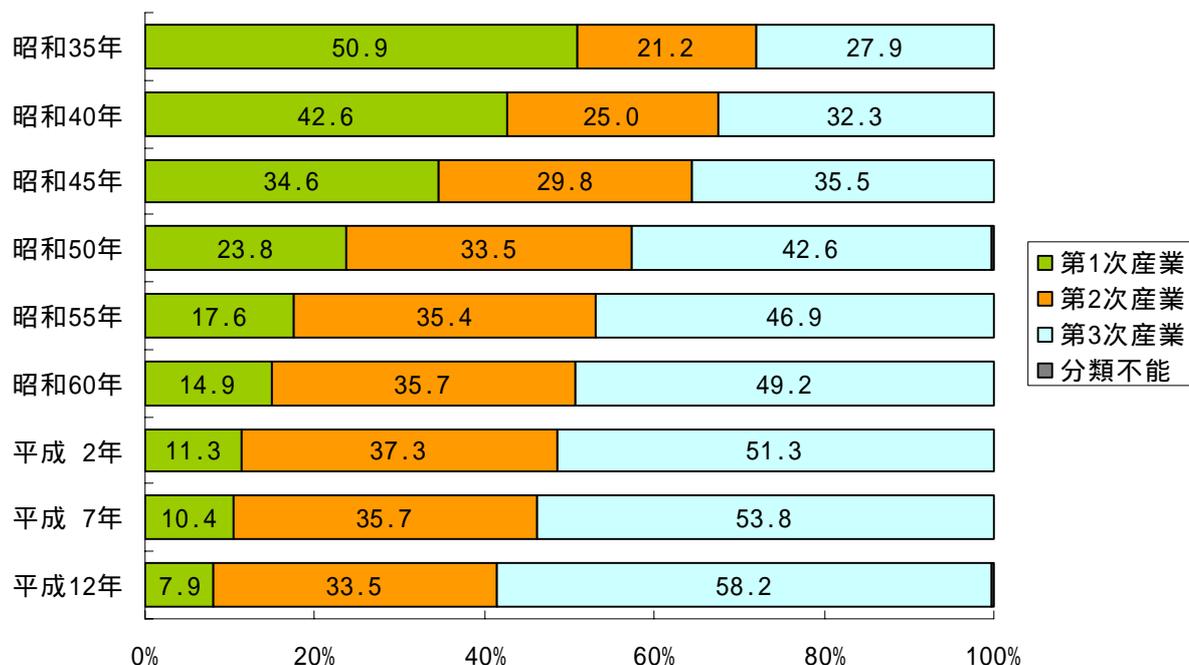


図 3-3 流域関係市町別産業就労人口の推移 出典：国勢調査，兵庫県の人口

表 3-2 流域関係市町別産業就労人口（平成13年）

県名	合併後	市町名	就労人口（人）				
			合併前	総数	第1次産業	第2次産業	第3次産業
兵庫県	豊岡市	豊岡市	24,184	1,332	7,560	15,218	74
		城崎町	2,444	92	346	2,000	6
		日高町	9,459	1,090	3,144	5,206	19
		出石町	5,540	384	2,230	2,918	8
		但東町	3,082	436	1,323	1,292	31
	養父市	八鹿町	5,627	342	1,786	3,485	14
		養父町	4,307	460	1,468	2,378	1
		大屋町	2,231	312	940	977	2
		関宮町	2,234	283	679	1,268	4
	朝来市	和田山町	8,688	562	2,964	5,071	91
		山東町	3,098	279	1,191	1,626	2
		朝来町	3,499	341	1,266	1,881	11

出典：国勢調査，兵庫県の人口

3-4 交通

円山川流域を通過する JR 山陰本線、JR 播但線が流域と関西の主要圏域とを結ぶ重要な主要幹線となっている。

道路については国道 9 号線、178 号線、312 号線、426 号線に加え、主要地方道の整備がなされている。特に、国道 9 号線は、山陰地方の主要幹線道路として産業、文化などを支える大動脈だけでなく、但馬地方の生活道路としても多面的な役目を果たしている。

また、豊岡市までの延伸が計画されている北近畿豊岡自動車道は、豊岡市から氷上郡春日町に至る約 70km の高規格幹線道路であり、近畿自動車道敦賀線や播但連絡道路、鳥取豊岡宮津自動車道など一体となったネットワークを形成し、広域交通を分担する役割を担っている。

さらに、平成 6 年にはコミュニティー方式による但馬空港(通称:コウノトリ空港)が開港し、大阪方面との利便性が飛躍的に高まっている。

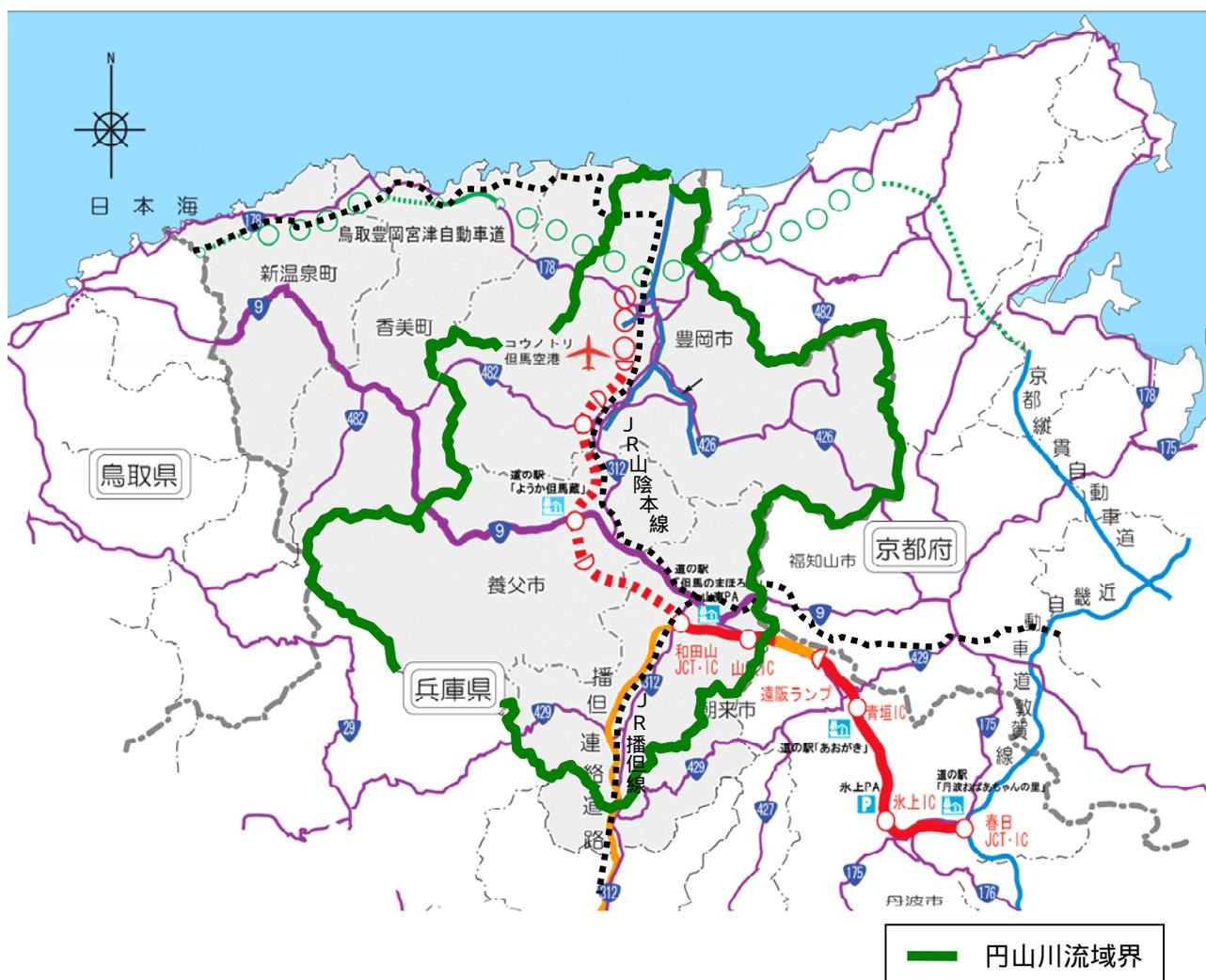


図 3-4 円山川流域の交通網